

2021.12.17富山県成長戦略ビジョンセッション（射水市）発言要旨

【知事からの説明】

新田知事より 資料（別添）により富山県成長戦略会議「中間とりまとめ」について説明

【グループ発表①～⑥】

①私たちのチームはビジネス向きなキーワードが多いメンバーでした。主に、教育県・食が豊か・人とのつながりが強い。この3つの要素を活かして何ができるかという、教育県です。県外から人を呼んで。食が豊か。美味しい食べ物を食べながら交流を深めていって楽しく学んで帰っていく。移住したいなと思った時に、富山は食べ物が美味しかったなと思い出してもらえます。そういう風になればいいなと思います。

知事：射水市は教育市だと思います。あぐらをかいていた教育県富山だとだんだん落ちちゃうので、教育も新しくして、子どもを教育するなら富山という県を目指していきたいと思います。

市長：射水が誇る食をぜひ多くの方に感じていただいて学びながら地域の皆さんと関わっていただく。ご縁を広げることが出来ればいいなと思います。

②まちづくりチームです。隣近所の人付き合いを大切にしよう、地域の支え合いを強めよう、子どもは地域で見る、というところを強めたいと思います。
歴史的価値にもうちょっと目を向けてみないかという話もありました。地域の自慢をもっと広げようと。新湊のような有名なところ以外の魅力をもっと探して地域外に発信してみなさんに来てもらって楽しんでもらう。
2世帯で住んでいるところが少ないですね。2世帯住宅を推進しようということもありました。薬勝寺池の近くに30階建ての日本一の駐車場をつくって2世帯を建てられる場所をつくりたいなと思いました。

知事：やっぱり隣近所の付き合いは大切ということ。支え合うことは大切だと思います。これはあまり濃密になると、若い女性にはちょっと嫌になるということも実はあるんですね。アンコンシャスバイアスにならないように、さらりとお互いお付き合いをして、本当にいざという時に、自然災害の時に協力し合う。普段はさらりとでも良い関係が続くようなご近所づきあいがいいのではないかなと思いました。

市長：住んでいる私たちが幸せで笑顔でいられないと外からもここは良いところだなと感じないと思うんですね。そういった意味でまちづくりの重要性を感じました。また歴史的価値もですね、うちとこのまちはこんなにすごいんやぞと自慢できるようなことも重要だと思います。薬勝寺池の駐車場の話は将来の課題かなと思います。

③一番票を集めたのはベイエリアのテーマパーク化です。中でも食ですね。シロエビ、カニとか。内川を使った遊覧とか。食のフェスティバルとか。こういうことをできる環境があれば

ばきっと若者たちはやりたいと思うんですよね。ぜひハード面を充実させていただければ、ソフト面は私たちがやりますので。ぜひよろしくをお願いします。

知事：クロスベイという素晴らしい所もできたし内川もあるし、ブリカニバスも走っていて海王丸もある。新湊大橋もある。これを繋げれば本当にテーマパークになると思います。ひと磨きをして、それを繋げて発信をする。ぜひよろしくをお願いします。

市長：新しいフットボールセンターも整備しておりますけれども、組み合わせでぜひ総合的に魅力を高めていければいいなと。ぜひみなさんの力もいただきたいと思います。イベントやアクションを起こせるような環境とありました。県と連携しながら進めていきたいと思えます。

④若い女性の流出を防ぐと共にウェルビーイングを掲げていこうというキーワードで集まりました。独身女子が射水で過ごすところがないとか。独身女性が充実して過ごせれば、たぶん結婚した後も充実して過ごせて未来が明るくなるんじゃないかという土台のところですね。独身女性からハッピーになったらいいのかなというのがまず出まして。さらに結婚した後、男性の家事の協力と育児の参加をもっとオープンにと言いますか。子連れで買い物に行ったりとか。子連れでCSセンターに行っている男性の方って射水で少ないと思います。富山市だと公園にパパも来ているんですけど、射水って極端に少ないんです。もうちょっとやわらかくなったらみんなハッピーになるんじゃないかなって思います。ワーキングホリデーを積極的に受け入れようという案です。日本中世界中から人を集めていいところを伝えてできれば定住してもらおう、とにかくワーキングホリデーに来てもらおうということでした。

知事：独身女性のウェルビーイングを上げるということ、まさに成長戦略でも考えているところです。そのウェルビーイングが上がれば男性も増えるだろうし。若い女性がいなくなるまちは、消滅可能性都市なんですね。そうならないように大切なことだと思います。多様な女性の活躍を支えるために男性も多様な生活をして生活を支える、育児に参加する、そんなことが大切です。県庁でも一生懸命進めているところです。いきなり正社員というのはハードルが高いかもしれません。複業とかいろんな働き方が大切だと思います。太閤山ランドがあるじゃないですか。ぜひ活用ください。さすがに30年経って再度磨き上げを考えていますので。よろしくをお願いします。

市長：独身女性が過ごせる場所がない。これは本当に。子育て支援施設に男の人がなかなか来ないというのも非常に大きな課題ですね。厳しいご意見として射水のまちづくりにも活かしていきたいなと思います。

⑤まちづくりがメインのチームです。金山地区に里山の自然がいっぱいあるということで、そこを環境教育の施設の体験の機会の場とか。実際に金山里山の会さんが東京の小学校とかTOTOとか行ったり来たりされているんですが。もっとしっかりしたのを作ればいかなと。

大災害のときの疎開先。普段から体験しながらやる。それから学生。射水市は学生さんがいっぱいいらっしゃるので、学生さんもこの中に入ってしっかりやっていけたらいいなと思いました。

知事：富山は金沢に別に張り合うつもりはありませんが、張り合います。学生の数が違うんです。射水は学生が多いんです。働き手でもあり、消費者でもあり、まちを盛り上げていく大きな力だと思います。数年に一回入れ替わっていくという。ぜひ根付いていきたいと願うのですが、学生の力を大いに活用するというのはこれからの居心地の良いまちづくりにも繋がると思います。

市長：金山地区の豊かな自然は射水の宝だと思っています。子どもたちにもいろんな体験をしていただく。子どもたちが小さい頃に体験した経験って、大きくなっても「あの時あしたよね」と思い出しながら地域への愛着に繋がっていくと思います。いろんな方々に関わっていただいて経験していただくことで関係ができていくと思います。

⑥ウェルビーイングがキーワードのチームでした。子育てということと震災面のふたつの柱になっていくかなと思います。子育てしやすさ日本一ということで地域のふれあい食堂を増やす。子どもと地域の高齢者の方も含めた食堂を市内にもっと広めていきたい。経済的な基盤も生活には大事ですので仕事の充実とか、グリッドオフということで自立したエネルギー供給という意見も出ました。

知事：グリッドオフという考え方。いわゆる電力のネットワーク、電線で繋がっているのですが、それから離れて自己完結的にエネルギーをまかなうことだと思いますが。20世紀はまさに集中して巨大化して効率良くして、そんなことに我々人類が力を入れて成功した軌跡だったと思います。21世紀に入ってもう20年経ちましたけれども今そのアンチテーゼというか分散していくそしてそのほうがむしろいざとなったときに強い。まさに今の感染症・自然災害に弱い。東京一極集中が良くないんじゃないかということになっていますが。20世紀は東京に集まってそれを追いかけていこうというひとつの在り方だったのですが、今は地方の暮らしがいいじゃない。人のオフグリッドと言いますか。そんな時代だと思います。分散の良さ、密よりも疎の良さ。自立して完結することはSDGsにも繋がると思います。

市長：ウェルビーイングについてということで、子育て・仕事・グリーンエネルギーいろんな分野からご提案いただいたかなと思います。改めてひとりひとりの幸せって多様なものがあると思いつつも、それぞれが自分の幸せを探求できるような環境が幸せ人口1000万人に繋がっていくのかなと。いろんな活動を認められるまちをつくっていかねばと感じました。

【振り返り】

参加者：僕が今日参加してみて思ったのは、神社の方アナウンサーの方介護施設の方、いろんな方がいて僕達県立大学だったり学生が支えられているんだなと思いました。金沢に比べ

ると射水市は大学生も少なければ学生もあまり活発じゃないかなと思っていて、そういうところを私が学内から支えていけたらいいなと思っています。

参加者：私から話す視点だけじゃなくて皆さんの多くの意見を見るということとあらたな発見がありました。自分たちが活動している中で固定観念と言うか今までの価値観から抜け出せない部分があるんですけども、先入観なしに多くの人意見を聞かせて頂いて次からの自分たちの体験にも活かしていけるのではないかなと思います。

参加者：街でいろんな賑わいを作ろうと私たちも頑張っています。クロスベイのイルミネーションも見ていただいたでしょうか。あれも商工会議所青年部が中心となって市や県や色々な方々に支えて頂いてイルミネーションを実施しました。我々どうしても経済的なことを考える団体ではありますが、色々な方々に子供のことであったり地域のことを教えていただける機会だったなと感じています。こういうことを活かしながら我々も活動をしていきたいなと思いました。

参加者：私自身は横浜から来まして、射水に住んで二十数年になりました。今行政書士をやっています、来年小杉でインキュベーション施設を開設する予定です。新しい風を吹かせていければいいなと思いますけど、今日はあまり時間がなくてそこは残念でした。いいところはいっぱいあるけれども現場に留まってしまう。そういうところが多いんじゃないかなと思いました。なので積極的にチャレンジしていけるようにしたいし、そういう方を応援できるように自分自身も頑張っていきたいと思いました。

参加者：私自身千葉から嫁いで来ていて射水市出身の生粋の射水っ子ではないのですが、皆さんのお話を聞いてやっぱり射水ってすごくいいところだなと改めて思いました。射水のために何か出来ることを一人一人みんなで力を合わせてやっていかなければならないなと考えることができました。

参加者：今日は市長や富山県知事の前でお話できてとても光栄でした。射水はポテンシャルが高くてこれをどう伝えるかによって変わってくると思うんですよ。僕が2019年から音楽フェスをやり始めて、2020年もやろうと思ったんですけども、結局コロナで中止になって。射水の良さをもっと県外の人に知ってほしいということで僕ができる手法として音楽フェスティバルを開催してPRしていくことをさせていただきました。こういう事に挑戦する場所が富山県には必要だと思いますし、イベントをしたいと思った時にできる場所を作ってもらいたいなとずっと思っていました。思っていることを行動に起こせば自分でできるということを証明するために音楽フェスを開催したという経緯があります。こうやってできる場所を増やしていければと思います。

参加者：今回一般市民を対象にして自由に意見を言い合うということ自体が富山県が変わっているなということを感じています。まちづくり関係のことをやっているのですが、皆さん考えていることは同じなんだと改めて感じました。残念だった事が一つあって、ファシリテーションのことを私もやっているのですが、配っているマジックにオレンジとか薄い緑色とか混ざっているのが字が見えないなあと残念でした。

参加者：やっぱり女性の活躍、射水市の議会から女性がなくなったんですよ。それは私たちの責任、私たちが選んだんですけれども。裏を返せば女性が活躍できる素地がまだまだ足りないと思います。かといって無理に出してもそれは不幸ですから、提案があります。今若い人たち14歳の挑戦ということで色々な所に出ていただいています。ぜひ公務員の挑戦。県庁、市、女性の方活躍されている方いっぱいいらっしゃるので敷居を下げてもっと地域なりそこに活躍して問題点を見て私はこの地域に率先して立つよというような素地を制度をぜひ作っていただきたいと思います。

参加者：獅子舞が本当に危機なんですよ。人口が少なくなって少子高齢化ということで普通にやるだけでも苦しい中このコロナ期間ということで一回休んだら祭りが終わってしまうということが言われているくらい本当に辛い時期で。獅子舞を自分が生きている間に途絶えさせたくないという思いが本当に強くて。若い衆で団体を作りたい。長野県や県外の方にイベントで出向くこともあります。そういうところとも連携していきたいと思っています。YouTubeでも配信したいと思っています。

参加者：今日はいろんな世代のいろんな職業の方々とお話をさせていただいて、皆さん希望を持って射水に住んでいらっしゃるんだなと思ってすごい嬉しく思いました。幸せ人口という話があったと思うんですけど、やりたいことは皆さんそれぞれにあってベースにある幸せって些細なことでも幸せだなんて感じる豊かなところとかそういうものを持った大人がたくさんいて、そういう気持ちをもった子どもたちを育てるような射水市であったらいいなと心から思いました。

参加者：今日参加させていただいてこれからの射水市は大丈夫だと実感いたしました。孔子の教えに近説遠来という言葉があります。この言葉の意味は要するに地域の人たちが説（喜）べば遠くから人が来るということだと思います。是非とも皆さん自信を持ってこれからの射水市を頑張っていただきたいなと思います。

知事：まさに今おっしゃったことです。近説遠来。近き者説（喜）び、遠き者来たる。これがこのウェルビーイング戦略なんです。先ほど獅子舞のことも熱く語られました。残念ながらコロナ禍でできない祭りがあります。私はこのビジョンセッションも祭りだと思います。だって熱量の高い方が集まり地域を愛してワイワイやる。熱いですよこれは。それぞれまちづくりという神輿を担いだり、あるいはウェルビーイングというだしをひいていただいたり。今日は富山県庁が主催でしたが、今後は皆さんそれぞれのお祭りを続けていていただきたいと思います。今日はそんなきっかけになればと思います。

参加者：射水市には若い方がたくさんいらっしゃって、若い方を中心に意見を述べられましたが本当に若い方に敬意を表します。私は高齢者なんですよ。最後に高齢者はどう生きられるかということについては是非足を引っ張らずに私たちを仲間に入れてください。いろんな対策と一緒に練りましょう。特に学生さんのアイデアは絶対に欠かしてはならないと思うのでどんどん前を出していきたいと思っています。世界に発信できることを射水市から作りたいなと思います。これができる射水市だと思っています。

参加者：自分学生なんですけれども、このような会に参加するのは初めてで緊張していて実際に来てみると多くの方がいていろんな職業だったりいろんな年代の方と交流できて素晴らしい経験をさせて頂いたなと思っています。学生として自分ができることがまだまだあるなと感じました。ウェルビーイングという単語を知ることができてまだまだ射水市のために何か考えられるのではないかと行動できるんじゃないかと思いました。高齢者の方も学生として引っ張って行けたらいいなと思いました。